

平成 21 年度当初予算 施策別概要

227 農林水産業を支える 技術開発の推進

（主担当部：農水商工部）

- 22701 農業を支える技術開発の推進（農水商工部）
- 22702 畜産業を支える技術開発の推進（農水商工部）
- 22703 林業を支える技術開発の推進（環境森林部）
- 22704 水産業を支える技術開発の推進（農水商工部）

< 施策の目的 >

（対象）農林水産業者が

（意図）開発された技術を有効利用して、生産活動を行っている

< 施策の数値目標 > 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目（主指標）		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
研究成果が活用された件数	目標値	-	125 件	126 件	127 件	127 件
	実績値	127 件	127 件	126 件		

過去 5 年間の研究事業から生み出された研究成果のうち、次の 3 項目のいずれかに該当する
研究成果が活用された件数 技術移転、特許等の実施許諾、研究成果の製品・商品化

県の取組目標項目（副指標）		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
技術支援件数	目標値	-	1,326 件	1,336 件	1,336 件	1,336 件
	実績値	1,305 件	1,925 件	2,003 件		

当該年度における事業に基づく技術支援や、生産者・関係団体等からの技術相談、診断・検査等に対応した件数

< 進捗状況（現状と課題） >

- ・農林漁業者や消費者のニーズに対応して、糖度に優れた極早生温州みかん「みえ南紀 1 号」や酒づくりに適した酒造好適米「神の穂」などの新品種開発のほか、新たな畜産自給飼料製造技術や真珠養殖技術の開発などを行いました。
- ・自立した農水産経営体の活発な事業活動を支えるためには、消費者に信頼される農水産物の安定的な生産技術や、消費者ニーズに対応した農水産物の高付加価値化や売れるブランド製品の開発などにつながる技術の開発が求められています。
- ・食料自給率の向上や、地球温暖化の影響など生物生息環境の悪化に対応できる技術開発が必要です。
- ・林業及び林産業が持続的に経営されるよう、直面する技術的課題の解決に取り組んでいます。
- ・林業生産における新しい森林管理技術、野生獣類の被害防除技術及び県産材の用途や競争力のあがるこの開発が必要です。

<平成21年度の取組方向>

農水産物の高付加価値化やブランド化を進めるため、水稻・カンキツ・いちご等の新品種の開発や、肉牛、茶、みかんなどの品質向上につながる栽培・飼養技術の開発に取り組み、売れる商品づくりに向けた研究を行います。また、水産物の魅力を高めるため、マハタ・クエなど新しい魚種の生産技術、真珠や黒ノリなどの養殖技術の開発に取り組みます。

農水産物の耐病性品種の育成や病虫害防除技術による安全・安心の確保、水田の高度利用、藻場・干潟の再生・回復等による生物生息環境の改善、農産物栽培や水産養殖における省資源化などに向けた技術開発を進めます。

林業の喫緊の課題であるニホンジカ被害対策や県産中大径材を梁桁材への利用拡大技術の開発、県特産きのこの栽培技術の高度化や尾鷲ヒノキの新たな機能性部材の開発による競争力強化に取り組みます。

<主な事業>

(重)新しい三重の酒造好適米の地域特産化事業

【基本事業名：22701 農業を支える技術開発の推進】

(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 14 農業試験研究費)

予算額：(20) 1,260千円 (21) 1,081千円

事業概要：酒造好適米として開発した新品種「神の穂」を使用した地域特産酒づくりを支援するため、地域特性に応じた加工適性の高い栽培技術への改善に取り組みます。

(栽培マニュアルの改善、現地適応性試験)

(重)牛肉のおいしさ成分研究事業【基本事業名：22702 畜産業を支える技術開発の推進】

(第6款 農林水産業費 第2項 畜産業費 3 畜産業試験研究費)

予算額：(20) 1,620千円 (21) 1,436千円

事業概要：松阪肉などの肉質の安定と向上をはかるため、和牛枝肉のアミノ酸などのうま味成分と官能評価等による牛肉のおいしさ要素を解析し、肥育技術の向上につなげます。

(うまみ成分分析、肥育技術の改良、実証試験)

(重)マハタ、クエの種苗生産・養殖高度化技術開発事業

【基本事業名：22704 水産業を支える技術開発の推進】

(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 10 水産業試験研究費)

予算額：(20) 7,650千円 (21) 6,528千円

事業概要：種苗生産技術開発などを確立した新しい養殖魚種「マハタ、クエ」を東紀州の特産品として定着させるため、選抜育種による優良種苗の開発やエサの違いによる品質特性の解明などに取り組み、養殖魚の品質向上につなげます。(種苗生産技術の高度化、養殖技術の高度化)

(新)大規模水田営農確立技術開発事業【基本事業名：22701 農業を支える技術開発の推進】

(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 14 農業試験研究費)

予算額：(20) - 千円 (21) - 千円

(16,529千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要：水田農業を支える大規模経営組織を支援するため、大規模な現地実証試験を実施し、水稻、麦、大豆、飼料作物の多収・低コスト栽培技術などの開発に取り組みます。

(水稻、小麦、大豆、飼料作物で現地実証)

(新)ニホンジカの生息密度管理と森林被害防除に関する研究事業

【基本事業名：22703 林業を支える技術開発の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 10 林業試験研究費)

予算額：(20) - 千円 (21) 2,542千円

事業概要：三重県内のシカによる農林業被害の深刻化に対応するため、精度の高い生息密度推定法と高い調査技術を必要としない簡易な森林被害量評価法を確立します。

(固定調査地の設定、シカ生息密度のモニタリング調査)